令和7年度　事後評価シート

【事務事業シート】

1

当初								
事　項	**樹園地農業スマート化促進事業費**						予算主管課	農地整備課
事　業 概　要	県営事業で造成した樹園地のスプリンクラー施設について、ICTを融合した高度なシステムを開発するとともに、スプリンクラー等を用いた土壌改良剤等の施肥技術の開発により、農家の労力を軽減することで、かんきつ農業の生産性や品質の向上を図る。						始期	2024
							終期	2026
ＫＰＩ	**既存スプリンクラー施設への新たな機能追加に向けた課題解決率**							
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度	
	Ｒ４年度		目標値	%	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %
	実績値	%	実績値	%	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	%
	ストック/フロー	フロー	達成率	%	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%
コスト			最終現計予算額	千円	最終現計予算額	9600 千円	最終現計予算額	10000 千円	最終現計予算額	千円
			決算額	千円	決算額	7681 千円	決算額	9634 千円	決算額	千円
							繰越額	千円	繰越額	千円
							不用額	366 千円	不用額	千円
7年度	要因分析	要因								
		総括								
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は想定どおりの成果が出ており、大きな課題は確認されていないことから、8年度は、システム改良を行い、動作や操作性の向上を図ることとしており、8年度の執行方法の見直しは想定していない。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

2

9月補正								
事　項	**農業水利施設電気料金支援事業費**						予算主管課	農地整備課
事　業 概　要	電気料金高騰の影響を受ける農業水利施設を所有・管理する土地改良区等の負担軽減のため、高騰分の一部を補助するとともに、省エネルギー化の取組を推進し、安定的な運営体制の確立を図る。						始期	2025
							終期	2025
ＫＰＩ	**支援を受けて省エネ化に取り組む 土地改良区の運営継続率**							
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度	
	Ｒ４年度		目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %
	実績値	%	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	%
	ストック/フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%
コスト			最終現計予算額	24000 千円	最終現計予算額	13000 千円	最終現計予算額	11000 千円	最終現計予算額	千円
			決算額	19377 千円	決算額	9118 千円	決算額	6362 千円	決算額	千円
							繰越額	千円	繰越額	千円
							不用額	4638 千円	不用額	千円
7年度	要因分析	要因								
		総括 電気料金高騰分の一部支援の実施により、支援を受けた土地改良区等は運営を継続しており、KGI実績値の向上に好影響を与えることができた。今後は、土地改良区等と連携して安定的な運営体制の確立を図る。								
	見直し方向性									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

3

当初,12月補正,2月補正	事　項	かんがい排水事業費	予算主管課	農地整備課
	事　業 概　要	農業水利施設の保全及び農道の整備等により、農業用水の安定確保や農業生産性の向上、営農条件の改善を図る。	始期	1949
			終期	

農業水利施設の保全・整備完了面積

KPI	KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
	R４年度		目標値	3500 ha	目標値	5600 ha	目標値	9500 ha	目標値	10000 ha
	実績値	ha	実績値	3438 ha	実績値	7139 ha	実績値	9515 ha	実績値	ha
	ストック/フロー	ストック	達成率	98.2 %	達成率	127.5 %	達成率	100.2 %	達成率	%

コスト								
最終現計予算額	772868 千円	最終現計予算額	2134332 千円	最終現計予算額	2997981 千円	最終現計予算額	千円
決算額	765266 千円	決算額	996768 千円	決算額	1962591 千円	決算額	千円
				繰越額	1027195 千円	繰越額	千円
				不用額	8195 千円	不用額	千円

7年度			
要因分析	要因		
	総括		
見直し方向性	維持	7年度の目標達成率は想定以上の成果が出ており、8年度以降も効果的な予算配分や適切な進捗管理を行うことで成果の向上が見込まれることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。	

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

4

当初,12月補正	事　項	農道整備事業費	予算主管課	農地整備課
	事　業 概　要	農道の整備等により、農業生産の近代化や農産物等の輸送の合理化、農村環境の改善を図る。	始期	1970
			終期	2026

農道の新設路線数

KPI	KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
	R４年度		目標値	180 路線	目標値	180 路線	目標値	181 路線	目標値	182 路線
	実績値	路線	実績値	180 路線	実績値	180 路線	実績値	180 路線	実績値	路線
	ストック/フロー	ストック	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	99.4 %	達成率	%

コスト							
最終現計予算額	258738 千円	最終現計予算額	451625 千円	最終現計予算額	726989 千円	最終現計予算額	千円
決算額	248081 千円	決算額	445197 千円	決算額	520778 千円	決算額	千円
				繰越額	204323 千円	繰越額	千円
				不用額	1888 千円	不用額	千円

7年度			
要因分析	要因 令和７年度完了予定の１地区において、工事実施中の土質変更に伴う工法の検討に不測の期間を要し、整備完了が予定より遅延したため、未達成となった。		
	総括		
見直し方向性	維持	7年度の目標達成率は想定よりも低調であったが、国からの予算割当状況や周辺土質を踏まえた工法の検討が完了していることを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、８年度の執行方法や９年度予算の見直しは想定していない。	

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

5

当初,12月補正,2月補正								
事　項	**担い手育成基盤整備事業費**						予算主管課	農地整備課
事　業 概　要	水田や樹園地の区画拡大や緩傾斜化、道水路整備を一体的に実施し、担い手への農用地利用集積の促進を図る。						始期	1986
							終期	
Ｋ　Ｐ　Ｉ	**担い手が活用する農地の生産基盤整備面積**							
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ　５　年　度	Ｒ　６　年　度	Ｒ　７　年　度	Ｒ　８　年　度		
	Ｒ　４　年　度		目標値 62 ha	目標値 82 ha	目標値 102 ha	目標値 122 ha		
	実績値	ha	実績値 63.1 ha	実績値 84 ha	実績値 105.5 ha	実績値 ha		
	ストック/フロー	ストック	達成率 101.77 %	達成率 102.4 %	達成率 103.4 %	達成率 %		
コ　ス　ト			最終現計予算額 669297 千円	最終現計予算額 1735558 千円	最終現計予算額 2858797 千円	最終現計予算額 千円		
			決算額 661343 千円	決算額 711138 千円	決算額 1604818 千円	決算額 千円		
					繰越額 1229328 千円	繰越額 千円		
					不用額 24651 千円	不用額 千円		
７年度	要因分析	要因						
		総括						
	見直し方向性	維持	７年度のKPIの実績は、ほぼ想定どおりの成果であり、８年度以降も引き続き継続地区の工事を進めていくことで、KPIは目標達成する見込みであることから、８年度の執行方法や９年度予算の見直しは想定していない。					

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

6

当初,12月補正								
事　項	**農地再編復旧整備事業費**						予算主管課	農地整備課
事　業 概　要	西日本豪雨により被災した柑橘園地において、周辺園地を含む緩傾斜化や農道、排水路等の総合的整備を行うことで、災害に強く生産性の高い園地として再生を図る。						始期	2019
							終期	2028
Ｋ　Ｐ　Ｉ	**再編復旧工事を完了した地区数**							
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ　５　年　度	Ｒ　６　年　度	Ｒ　７　年　度	Ｒ　８　年　度		
	Ｒ　４　年　度		目標値 0 地区	目標値 0 地区	目標値 1 地区	目標値 3 地区		
	実績値	地区	実績値 0 地区	実績値 0 地区	実績値 1 地区	実績値 地区		
	ストック/フロー	ストック	達成率 100 %	達成率 100 %	達成率 100 %	達成率 %		
コ　ス　ト			最終現計予算額 177578 千円	最終現計予算額 564354 千円	最終現計予算額 1030006 千円	最終現計予算額 千円		
			決算額 176171 千円	決算額 208041 千円	決算額 596820 千円	決算額 千円		
					繰越額 432483 千円	繰越額 千円		
					不用額 703 千円	不用額 千円		
７年度	要因分析	要因						
		総括						
	見直し方向性	維持	７年度のKPIの実績は想定通りの成果が出ており、８年度以降も必要性を踏まえるとKPIは目標達成すると考えられることから、８年度の執行方法や９年度予算の見直しは想定していない。					

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

7

当初,2月補正	事　項	農村総合整備事業費	予算主管課	農地整備課
	事　業 概　要	農業生産基盤や農村生活環境基盤の整備等を総合的に行い、農業・農村の活性化を図る。	始期	1973
			終期	2026

整備完了により生産基盤等が向上した地区数

KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
R４年度		目標値	92 地区	目標値	92 地区	目標値	94 地区	目標値	94 地区
実績値	地区	実績値	90 地区	実績値	91 地区	実績値	91 地区	実績値	地区
ストック/フロー	ストック	達成率	97.8 %	達成率	98.9 %	達成率	96.8 %	達成率	%
コスト		最終現計予算額	174460 千円	最終現計予算額	262950 千円	最終現計予算額	410286 千円	最終現計予算額	千円
		決算額	161750 千円	決算額	249197 千円	決算額	245690 千円	決算額	千円
						繰越額	160060 千円	繰越額	千円
						不用額	4536 千円	不用額	千円

7年度			
	要因分析	要因 地区進捗に必要な予算額を要求していたが、国割当額が要求額を下回る結果となったため、未達成となった。	
		総括	
	見直し方向性	改善	７年度の目標達成率は想定を下回っており、８年度の要求に対する国の割当額も低調であったことから、国に対して農業農村整備予算の総額確保を要望するとともに、令和８年度の執行過程において、受益者との調整による工区間の優先度も考慮しながら、地域の営農に支障が生じないよう事業を推進する。

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

8

当初,12月補正	事　項	小規模農業基盤整備事業費	予算主管課	農地整備課
	事　業 概　要	農業経営の安定を図るため、農道や用排水路等の小規模な基盤整備に対し支援を行う。	始期	1997
			終期	

小規模農業基盤整備面積

KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
R４年度		目標値	717 ha	目標値	727 ha	目標値	737 ha	目標値	747 ha
実績値	ha	実績値	747 ha	実績値	751 ha	実績値	763 ha	実績値	ha
ストック/フロー	ストック	達成率	104.2 %	達成率	103.3 %	達成率	103.5 %	達成率	%
コスト		最終現計予算額	138574 千円	最終現計予算額	35950 千円	最終現計予算額	150919 千円	最終現計予算額	千円
		決算額	127982 千円	決算額	28650 千円	決算額	84695 千円	決算額	千円
						繰越額	66047 千円	繰越額	千円
						不用額	177 千円	不用額	千円

7年度			
	要因分析	要因	
		総括	
	見直し方向性	維持	単年で見ると農用排水路で受益面積が限られるため伸び率が低かったが、これは本年度完了予定地区の前倒し完了によるものであり、現状の実施状況を踏まえると、８年度のKPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や９年度予算の見直しは想定していない。

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

9	当初	事　項	**国営造成施設等管理強化事業費**	予算主管課	農地整備課
		事　業 概　要	農業・農村の有する多面的機能を将来にわたって発揮させるため、国、県、市町が費用の一部を助成し、地域住民等の管理参画の枠組みを維持し、土地改良区等の管理体制の支援を行う。	始期	2000
				終期	

		KPI	**管理協定の締結数**						
			KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度	R 6 年 度	R 7 年 度	R 8 年 度	
			R 4 年 度		目標値 101 協定	目標値 101 協定	目標値 101 協定	目標値 101 協定	
			実績値	協定	実績値 101 協定	実績値 101 協定	実績値 101 協定	実績値 協定	
			ストック/フロー	ストック	達成率 100 %	達成率 100 %	達成率 100 %	達成率 %	
		コ ス ト			最終現計予算額 39369 千円	最終現計予算額 40369 千円	最終現計予算額 44330 千円	最終現計予算額 千円	
					決算額 39369 千円	決算額 39369 千円	決算額 43555 千円	決算額 千円	
							繰越額 千円	繰越額 千円	
							不用額 775 千円	不用額 千円	
	7年度	要因分析	要因						
			総括						
		見直し方向性	維持	R7年度のKPIの実績は想定どおりであり、今後は、土地改良区等の支援を継続するため、構築された地域住民等の管理参画の枠組みを維持していく。					

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

10	当初	事　項	**国営緊急農地再編整備事業換地受託費**	予算主管課	農地整備課
		事　業 概　要	国営事業で実施される区画整理に要する換地について、国から受託し業務を行う。	始期	2016
				終期	2029

		KPI	**担い手に利用集積された面積（累積）**						
			KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度	R 6 年 度	R 7 年 度	R 8 年 度	
			R 4 年 度		目標値 36.4 ｈａ	目標値 36.4 ｈａ	目標値 80.5 ｈａ	目標値 234.5 ｈａ	
			実績値	ｈａ	実績値 36.4 ｈａ	実績値 36.4 ｈａ	実績値 101.9 ｈａ	実績値 ｈａ	
			ストック/フロー	ストック	達成率 100 %	達成率 100 %	達成率 126.6 %	達成率 %	
		コ ス ト			最終現計予算額 30000 千円	最終現計予算額 53000 千円	最終現計予算額 60000 千円	最終現計予算額 千円	
					決算額 25213 千円	決算額 48391 千円	決算額 55705 千円	決算額 千円	
							繰越額 千円	繰越額 千円	
							不用額 4295 千円	不用額 千円	
	7年度	要因分析	要因						
			総括						
		見直し方向性	維持	７年度のKPIの実績は想定どおりの成果が出ているため、８年度の執行方法や９年度予算の見直しは想定していない。					

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

11

当初								
事　項	**県単独土地改良事業費**						予算主管課	農地整備課
事　業 概　要	市町、土地改良区が行う農道やかんがい排水等の小規模な基盤整備に対し支援を行う。						始期	1957
							終期	
Ｋ　Ｐ　Ｉ	**本事業による農業生産基盤面積**							
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ　５　年　度	Ｒ　６　年　度	Ｒ　７　年　度	Ｒ　８　年　度		
	Ｒ　４　年　度		目標値 100 ha	目標値 100 ha	目標値 100 ha	目標値 100 ha		
	実績値	ha	実績値 102.8 ha	実績値 100.5 ha	実績値 100.2 ha	実績値 ha		
	ストック/フロー	フロー	達成率 102.8 %	達成率 100.5 %	達成率 100.2 %	達成率 %		
コ　ス　ト			最終現計予算額 76340 千円	最終現計予算額 76340 千円	最終現計予算額 76340 千円	最終現計予算額 千円		
			決算額 76340 千円	決算額 63483 千円	決算額 72646 千円	決算額 千円		
					繰越額 千円	繰越額 千円		
					不用額 3694 千円	不用額 千円		
7年度	要因分析	要因						
		総括						
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は、ほぼ想定どおりの成果であり、8年度以降も引き続き継続地区の工事を進めていくことで、KPIは目標達成する見込みであることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。					

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

12

当初,12月補正,2月補正								
事　項	**国営南予土地改良事業費繰出金**						予算主管課	農地整備課
事　業 概　要	国営土地改良事業南予用水地区への当該年度事業費に対して負担する。						始期	2014
							終期	2027
Ｋ　Ｐ　Ｉ	**国営土地改良事業南予用水地区の事業進捗率**							
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ　５　年　度	Ｒ　６　年　度	Ｒ　７　年　度	Ｒ　８　年　度		
	Ｒ　４　年　度		目標値 64 %	目標値 73 %	目標値 82 %	目標値 91 %		
	実績値	%	実績値 64 %	実績値 73 %	実績値 80 %	実績値 %		
	ストック/フロー	ストック	達成率 100 %	達成率 100 %	達成率 97.6 %	達成率 %		
コ　ス　ト			最終現計予算額 80801 千円	最終現計予算額 90400 千円	最終現計予算額 74521 千円	最終現計予算額 千円		
			決算額 78202 千円	決算額 86970 千円	決算額 70441 千円	決算額 千円		
					繰越額 千円	繰越額 千円		
					不用額 4080 千円	不用額 千円		
7年度	要因分析	要因	地区進捗に必要な予算額を要求していたが、国割当額が要求額を下回る結果となったため、未達成となった。					
		総括						
	見直し方向性	維持	R7年度のKPIの実績はほぼ想定どおりであり、R8年度以降も予定通り進むと見込まれるため見直しは想定していない。					

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

13

当初,2月補正	事　項	国営道前道後平野土地改良事業費繰出金	予算主管課	農地整備課
	事　業 概　要	国営土地改良事業道前道後平野地区への当該年度事業費に対して負担する。	始期	1990
			終期	2035

国営土地改良事業道前道後用水地区の事業進捗率

KPI	KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
	R４年度		目標値	6 %	目標値	11 %	目標値	21 %	目標値	31 %
	実績値	%	実績値	6 %	実績値	12 %	実績値	17 %	実績値	%
	ストック/フロー	ストック	達成率	100 %	達成率	109.1 %	達成率	81 %	達成率	%

コスト								
最終現計予算額	273343 千円	最終現計予算額	169837 千円	最終現計予算額	154088 千円	最終現計予算額	千円
決算額	269363 千円	決算額	160673 千円	決算額	145166 千円	決算額	千円
				繰越額	千円	繰越額	千円
				不用額	8922 千円	不用額	千円

7年度			
要因分析	要因 地区進捗に必要な予算額を要求していたが、国割当額が要求額を下回る結果となり、未達成となった。		
	総括		
見直し方向性	改善	R7年度の目標達成率は想定を下回っており、物価高騰等に伴う全体事業費が増加傾向となる中、国の割当額も低調であったことから、国に対して計画的な事業の推進と農業農村整備予算の確保を要望するとともに、令和８年度の執行過程において、老朽化状況に応じた工事の優先度を考慮しながら、国、県、市町等の関係者が一体となって、用水の安定供給に支障が生じないよう事業の推進を行う。	

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

14

当初,12月補正	事　項	国営緊急農地再編整備事業費負担金	予算主管課	農地整備課
	事　業 概　要	国営緊急農地再編整備事業道前平野地区への当該年度事業費に対して負担する。	始期	2016
			終期	2029

国営緊急農地再編整備事業道前平野地区の事業進捗率

KPI	KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
	R４年度		目標値	49 %	目標値	59 %	目標値	71 %	目標値	83 %
	実績値	%	実績値	49 %	実績値	57 %	実績値	64 %	実績値	%
	ストック/フロー	ストック	達成率	100 %	達成率	96.6 %	達成率	90.1 %	達成率	%

コスト							
最終現計予算額	566583 千円	最終現計予算額	539934 千円	最終現計予算額	508360 千円	最終現計予算額	千円
決算額	562080 千円	決算額	531685 千円	決算額	503849 千円	決算額	千円
				繰越額	千円	繰越額	千円
				不用額	4511 千円	不用額	千円

7年度			
要因分析	要因 地区進捗に必要な予算額を要求していたが、国割当額が要求額を下回る結果となったため、未達成となった。		
	総括		
見直し方向性	改善	Ｒ７年度の目標達成率は想定を下回っており、物価の高騰や土質状況等に応じた工法変更に伴い全体事業費は増加傾向となる中、国の割当額も低調であったことから、国に対して計画的な事業の推進と農業農村整備予算の総額確保を要望するとともに、令和８年度の執行過程において、受益者との調整による工区間の優先度も考慮しながら、地域の営農に支障が生じないよう国、県、市町等の関係者が一体となって事業の推進を行う。	

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

15

当初,12月補正,2月補正									
	事　項	**林道整備事業費**						予算主管課	林業政策課
	事　業 概　要	適正な森林施業を推進し、森林経営の効率化及び森林資源の有効利用を図るため、開設・改良等を実施し林道を整備する。						始期	1955
								終期	
	K　P　I	**路網の整備延長（当該年度）**							
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	2567.6 km	目標値	2567.4 km	目標値	2575.5 km	目標値	2579.3 km
		実績値	2562.2 km	実績値	2563.4 km	実績値	2571.7 km	実績値	2578.5 km	実績値	km
		ストック/フロー	ストック	達成率	99.8 %	達成率	100.2 %	達成率	100.1 %	達成率	%
	コ　ス　ト			最終現計予算額	474573 千円	最終現計予算額	1220515 千円	最終現計予算額	2134448 千円	最終現計予算額	千円
				決算額	467703 千円	決算額	1216385 千円	決算額	1196753 千円	決算額	千円
								繰越額	927641 千円	繰越額	千円
								不用額	10054 千円	不用額	千円
7年度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	R7年度のKPIはほぼ想定どおりの成果が出ており、R8年度以降も現状の要望等状況を踏まえるとKPIは目標達成すると考えられることから、R8年度の執行方法やR9年度予算の見直しは想定していない。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

16

当初									
	事　項	**広域林道整備事業費**						予算主管課	林業政策課
	事　業 概　要	緑資源幹線林道事業のうち、森林整備や林業を基軸とする地域の振興等の総合的開発に資する基幹林道を整備する。						始期	
								終期	
	K　P　I	**路網の整備延長（当該年度）**							
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	8.4 km	目標値	8.6 km	目標値	0 km	目標値	0 km
		実績値	8 km	実績値	8 km	実績値	9.3 km	実績値	10.5 km	実績値	km
		ストック/フロー	ストック	達成率	95.2 %	達成率	108.1 %	達成率	100 %	達成率	%
	コ　ス　ト			最終現計予算額	70820 千円	最終現計予算額	197906 千円	最終現計予算額	210724 千円	最終現計予算額	千円
				決算額	68565 千円	決算額	197815 千円	決算額	210721 千円	決算額	千円
								繰越額	千円	繰越額	千円
								不用額	3 千円	不用額	千円
7年度	要因分析	要因									
		総括 広域林道整備の実施により、山村地域における森林整備の基礎となり、かつ生活環境の改善にも資する骨格的な山のみちを開設できた。今後は林道整備事業に統合し、引き続き山のみちの完成を目指す。									
	見直し方向性										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

17 当初

事　項	県単独林道整備事業費	予算主管課	林業政策課
事　業 概　要	市町、森林組合が行う作業道の開設・改良に対し支援を行う。	始期	1950
		終期	

本事業による路網の整備(開設･改良)延長

KPI	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
	R 4 年 度		目標値	1.2 km	目標値	1.2 km	目標値	1.2 km	目標値	1.2 km
	実績値	km	実績値	1.2 km	実績値	1.4 km	実績値	1.4 km	実績値	km
	ストック/フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	116.7 %	達成率	116.7 %	達成率	%
コスト			最終現計予算額	58007 千円	最終現計予算額	58007 千円	最終現計予算額	58007 千円	最終現計予算額	千円
			決算額	58007 千円	決算額	58007 千円	決算額	57915 千円	決算額	千円
							繰越額	千円	繰越額	千円
							不用額	92 千円	不用額	千円

7年度

要因分析	要因
	総括
見直し方向性	維持

R7年度のKPIはほぼ想定どおりの成果が出ており、R8年度以降も現状の要望等状況を踏まえるとKPIは目標達成すると考えられることから、R8年度の執行方法やR9年度予算の見直しは想定していない。

※令和6年度までの予算･決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

18 当初

事　項	大規模林業圏開発林道事業費負担金	予算主管課	林業政策課
事　業 概　要	旧緑資源幹線林道の平成19年までの開設事業経費について、国立研究開発法人森林研究・整備機構法附則第7条の規定に基づく本県の負担金を償還する。	始期	1979
		終期	2028

圏域内民有林間伐実績

KPI	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
	R 4 年 度		目標値	3676 ha	目標値	3678 ha	目標値	3730 ha	目標値	3830 ha
	実績値	3626 ha	実績値	3654 ha	実績値	3703 ha	実績値	ha	実績値	ha
	ストック/フロー	ストック	達成率	100.77 %	達成率	100.7 %	達成率	%	達成率	%
コスト			最終現計予算額	54216 千円	最終現計予算額	44642 千円	最終現計予算額	35313 千円	最終現計予算額	千円
			決算額	54216 千円	決算額	44642 千円	決算額	35313 千円	決算額	千円
							繰越額	千円	繰越額	千円
							不用額	千円	不用額	千円

7年度

要因分析	要因
	総括
見直し方向性	維持

7年度のKPIの実績は目標値を上回らない可能性があるものの、現状のニーズを踏まえると、事業実施はKPIの向上に寄与するものであることから、８年度の執行方法や９年度予算の見直しは想定していない

※令和6年度までの予算･決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

19

当初,2月補正	事　項	**漁場整備事業費**	予算主管課	水産課
	事　業 概　要	豊かな漁場を造成するため、沿岸海域に人工物を沈め魚の集まる場所（魚礁）や稚魚の隠れ家、餌場（増殖礁）を整備する。	始期	1976
			終期	

藻場造成面積(ha)

KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
R 4 年 度		目標値	3.9 ha	目標値	6.54 ha	目標値	7.86 ha	目標値	9.18 ha
実績値	2 ha	実績値	2.64 ha	実績値	4.77 ha	実績値	7.14 ha	実績値	ha
ストック/フロー	ストック	達成率	67.69 %	達成率	72.9 %	達成率	90.8 %	達成率	%
コ ス ト		最終現計予算額	304813 千円	最終現計予算額	457170 千円	最終現計予算額	601515 千円	最終現計予算額	千円
		決算額	295373 千円	決算額	291210 千円	決算額	384153 千円	決算額	千円
						繰越額	215312 千円	繰越額	千円
						不用額	2050 千円	不用額	千円

7年度			
	要因分析	要因 地元調整等に時間を要し年度内完成できなかった工事があったこと、市町事業で急を要する事案が生じたため予算流用を行ったこと、資材単価等の高騰により、当初計画していた事業数量を実施できなかったことなどから、KPI未達成となった。	
		総括	
	見直し方向性	維持	資材単価等の高騰などにより、事業実施数量は減少しているものの、R7年度にかけて順調に向上していることから、R8年度の執行方法やR9年度予算の見直しは想定していない。

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

20

当初,6月補正,12月補正,2月補正	事　項	**広域漁港整備事業費**	予算主管課	漁港課
	事　業 概　要	漁港施設の計画的な整備による水産物の生産・流通拠点づくりを推進し、ニーズに対応した水産物の安定供給を図る。	始期	2013
			終期	2034

整備完了により、地震・津波に対する安全性を確保した漁港数

KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
R 4 年 度		目標値	8 漁港	目標値	8 漁港	目標値	8 漁港	目標値	10 漁港
実績値	8 漁港	実績値	8 漁港	実績値	8 漁港	実績値	8 漁港	実績値	漁港
ストック/フロー	ストック	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%
コ ス ト		最終現計予算額	478185 千円	最終現計予算額	608795 千円	最終現計予算額	2462126 千円	最終現計予算額	千円
		決算額	475210 千円	決算額	605962 千円	決算額	1576091 千円	決算額	千円
						繰越額	878327 千円	繰越額	千円
						不用額	7708 千円	不用額	千円

7年度			
	要因分析	要因	
		総括	
	見直し方向性	改善	令和7年度のKPIの実績は想定通りであるが、近年の人件費・材料費の高騰による事業費の増大から、事業進捗が遅延している漁港があるため、令和8年度の国補正予算を活用するなど事業費の確保を図り、事業進捗を向上させる。

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。